



大崎上島の カッコいい過ごし方

図鑑



大崎上島町

大崎上島とは

瀬戸内海の中央・芸予諸島に浮かぶ島。南は愛媛県大三島、岡村島に、北は本土の竹原市、東広島市安芸津町に面しています。瀬戸内海独特の温暖で小雨な気候、降雪や降霜日数も少なく、造船業や農業がさかん。特に柑橘類がよく知られており、みかんが町木に定められています。

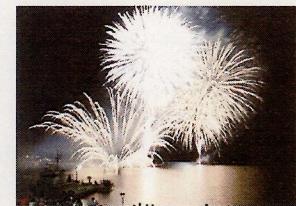
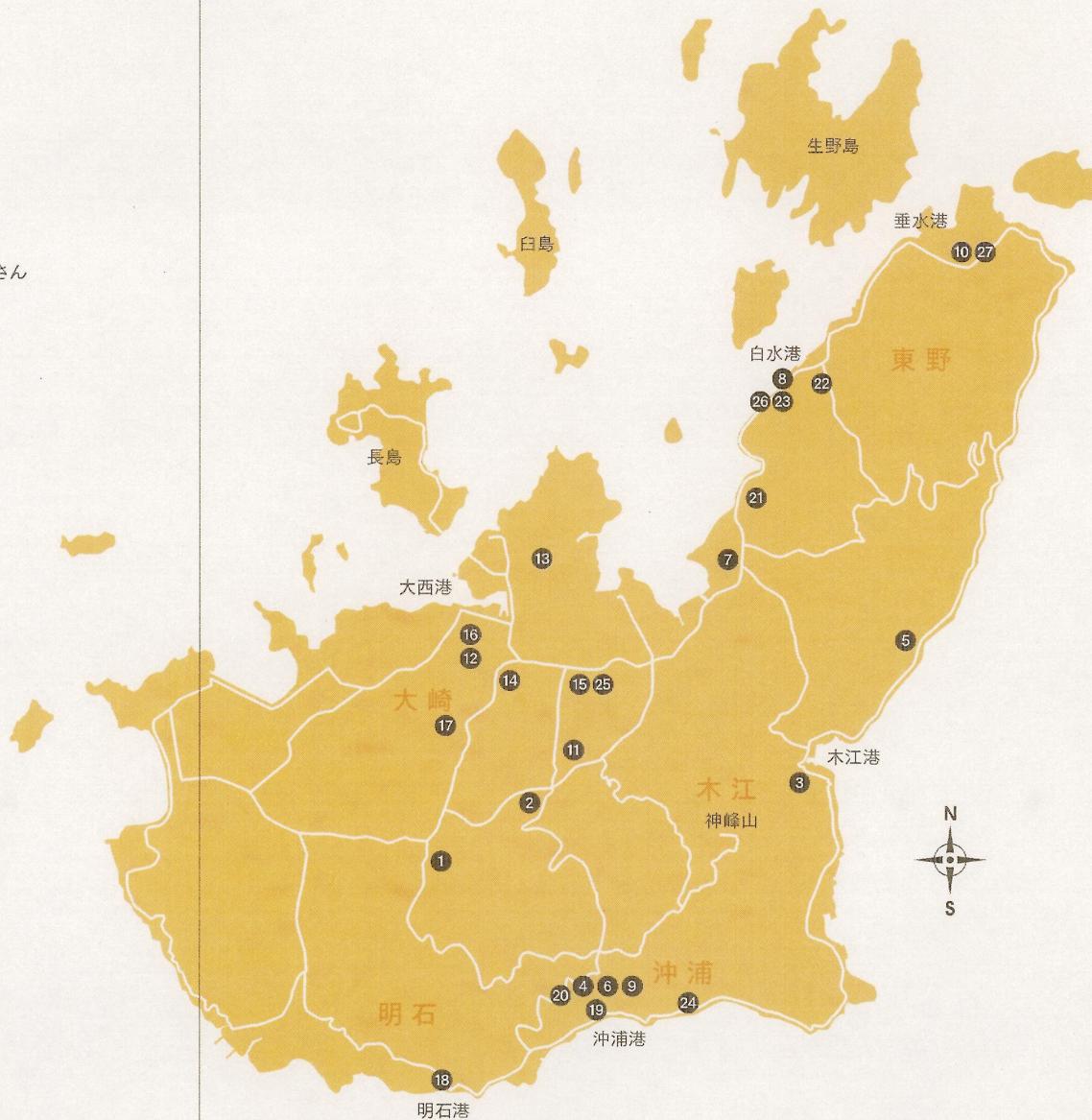
- ・島の面積…43.29km²
- ・人口…8,319人(2013年1月31日現在)

折り返し部分

100ミリ

大崎上島 MAP

- ① 松浦真英さん
- ② 亀田英壮さん
- ③ 藤原啓志さん
- ④ 佐々木ひろこさん
- ⑤ 中原伸悟さん
- ⑥ 取釜宏行さん
- ⑦ 中尾円さん
- ⑧ 村山忠行さん
- ⑨ 平本道子さん
- ⑩ 保手浜幸夫さん
- ⑪ 昭和24年会
- ⑫ 岩崎太郎さん
- ⑬ 末田尚行さん
- ⑭ 笹岡弘虎さん
- ⑮ 藤原弘三さん・榎本江司さん
- ⑯ 松浦二郎さん
- ⑰ 松岡光志さん
- ⑱ 朝山スミエさん
- ⑲ 高浦義文さん
- ⑳ 藤原知佐子さん
- ㉑ 川中政則さん
- ㉒ 不二川貫浄さん
- ㉓ 濱田紀幸さん
- ㉔ 蒔田世抽子さん
- ㉕ 岡田泰さん
- ㉖ 岡本義弘さん
- ㉗ 仲良し3人組



カッコいい人、 カッコいい暮らし。

地域の本当の良さは、住まう人の時間の使い方から見えてくる。

大崎上島の本当の魅力を探るため、

全国から集まったワークショップ参加者が
島を歩き回り、出会った島の人たちにインタビュー。

カッコいい人たちが語る島の暮らしには

私たちの知らないカッコいい時間の過ごし方、

カッコいい人生の送り方、

そして、カッコいい島の姿がたくさん、たくさん隠れていた。

大崎上島のカッコいい過ごし方図鑑ができるまで

「島」にはいろいろなイメージがある。

「リゾート地」「時間の流れがゆるやか」「消費文化から遠い」…

島の外に住む人が抱きがちな「島」のイメージだが、大崎上島はちょっと違う。

なにかと忙しく動き回っているし、休む暇も惜しむほどアクティブ。

島の文化や産業を全国規模で発信しようと、熱心に働く人もいる。

そして、出会いを重ねるうちに見えてきたのは、

島を盛り上げようと全力を注ぐ人たちが島の印象をつくっていること、

カッコいい過ごし方をする人たちこそ島の財産である、ということだった。

この島に暮らす人のカッコいい過ごし方をひもとけば、

新しいカッコよさを見つけるヒントが見つかるのでは…

こうして、全国から集まった島外の若人たちが、

島の本当の魅力を探りカタチにしたもの、

それが大崎上島の「カッコいい過ごし方」図鑑である。



「カッコいい過ごし方」図鑑をつくろう プロジェクトとは

島外の若い人ならではの感性と、講師から得られる新たな視点で島の魅力や資源を見つめなおすプロジェクト。全国から集まった参加者が、島で出会った人にインタビューして図鑑にまとめ、大崎上島の本当の魅力に迫る。

2012年11月3日～5日

第1回ワークショップ。島内をフィールドワークし、島の方々へインタビュー。島の美しい風景や魅力的な場面を撮影し、図鑑の素材を集めた。参加者同士の交流会も開催。



2012年11月17日・18日

ワークショップも2回目とあって、参加者同士のチームワークが生まれる。今回は映像の撮影や編集講座を開催。前回集めた素材に加え、映像の素材も集めた。



2012年12月1日

これまでのインタビューを振り返り、大崎上島ならではの「カッコいい過ごし方」について整理した。また、第2回ワークショップでまとめた映像の編集会議を行った。



2013年1月12日・13日

まるでクラスメイトのように仲間意識が芽生えた第4回ワークショップは、足りない素材を集めたり、再度取材にうかがうなど図鑑のフィニッシュワークに向けた作業。



図鑑のお披露目会を開催

2013年3月2日

できあがった図鑑を島に住む方にお披露目。できあがった図鑑をお披露目し、島での出会いやワークショップに参加しての感想を参加者がまとめて発表。

